

院外処方せんに記載されている検査値一覧

項目	名称	基準値(男性)	基準値(女性)	単位	検査の意味	高値(増加)疾患例	低値(減少)疾患例
WBC	白血球数	3.3-8.6	3.3-8.6	× 1000/μL	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、薬剤の影響も反映します。	細菌感染症、外傷、炎症性疾患、心筋梗塞、白血病、骨髄増殖性疾患(妊娠、ステロイドの服用、喫煙でも高く)	ウイルス感染症の初期、再生不良性貧血、薬剤の副作用
Hb	ヘモグロビン(血色素)値	13.7-16.8	11.6-14.8	g/dL	赤血球中で酸素の運搬を担うタンパク質の量です。貧血や多血症を推測することができます。	多血症(赤血球増加症) 運動後などの脱水	貧血、膠原病、感染症、妊娠後期
Plt	血小板数	158-348	158-348	× 1000/μL	止血のために働く血球の数です。出血傾向がある場合にその原因を探るための検査の一つです。	鉄欠乏性貧血、骨髄機能亢進	白血病、再生不良性貧血、薬剤による骨髄抑制、特異性血小板減少性紫斑病、DICなど
PT-INR	プロトロンビン時間(国際標準比)	0.85-1.25	0.85-1.25	INR	血液の凝固能を示す検査値です。	《延長》肝疾患、DIC(播種性血管内凝固症候群)、ビタミンK欠乏症、ワルファリン投与時、血液凝固因子欠損症	-
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、旧GOT	13-30	13-30	U/L	肝臓、心臓等の障害の指標です。	心筋梗塞、急性肝炎、筋肉疾患、慢性肝炎など	尿毒症、糖尿病性ケトアシドーシス、脚気
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ、旧GPT	10-42	7-23	U/L	肝臓の障害の指標です。	急性肝炎、胆石症発作など	尿毒症、糖尿病性ケトアシドーシス、脚気
T-Bil	総ビリルビン	0.4-1.5	0.4-1.5	mg/dl	黄疸の程度の指標です。	肝機能障害、胆道閉鎖など	-
血清Cr	血清クレアチニン	0.65-1.07	0.46-0.79	mg/dl	腎機能・筋肉量の指標です。	急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎、急性腎不全、慢性腎不全、脱水症、火傷、うっ血性心不全	筋ジストロフィー、尿崩症、妊娠初期
eGFR	推定糸球体濾過量	90-110	90-110	mL/分/1.73m <sup>2</sup>	血清クレアチニン濃度をもとに推算された糸球体濾過量のこと腎機能の指標です。	急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎、急性腎不全、慢性腎不全、脱水症、火傷、うっ血性心不全	筋ジストロフィー、尿崩症、妊娠初期
CK	クレアチンキナーゼ	59-248	41-153	U/L	筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害があると上昇します。	急性心筋梗塞、横紋筋融解症、筋ジストロフィー、多発性筋炎、甲状腺機能低下症、脳出血、脳梗塞、薬剤性など	甲状腺機能亢進症、妊娠など
CRP	C反応性たんぱく	0.00-0.14	0.00-0.14	mg/dl	炎症や組織の障害の指標です。	高度(5+~6+) 細菌感染症、結核、慢性関節リウマチ、敗血症、悪性腫瘍 など 中等度(2+~4+) 多発性動脈炎、悪性リンパ腫、クローン病、心筋梗塞、外科手術など 軽度(±~1+) ウイルス感染症、SLE、白血病、妊娠、貧血、気管支喘息、など	-
K	カリウム	3.6-4.8	3.6-4.8	mEq/L	腎や内分泌・代謝疾患で検査が必要	偽性高K血症、腎不全、代謝性アシドーシス 薬剤性(K保持性利尿剤、ARB、ACE阻害剤、NSAIDsなど)など	K摂取の不足、薬剤性(利尿剤、甘草)、アルカローシスなど
HbA1c	ヘモグロビン・エイワンシー国際標準値(NGSP値)	4.9-6.0	4.9-6.0	%	血糖コントロールの指標です。	糖尿病	溶血性貧血